

為 替 相 場 展 望

株式会社 日本総合研究所
調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/research/>

目 次

ドル円相場	1
ユーロ相場	2
トピックス	3～6
ドル円相場・チャート分析	7
為替関連指標	8
資料	

本資料は2011年2月1日時点で利用
可能な情報をもとに作成しております。

本資料に関するご照会は、下記宛てお
願い致します。

欧米経済・市場動向グループ
牧田 (Tel: 03-3288-4244
Mail: makita.takeshi@jri.co.jp)

1. ドル・円相場見通し

米国の利上げが展望できないなか、2011年を通して80円台を中心とした一進一退が続く見込み。

(1) 1月の相場回顧

1月のドル円相場は、月初良好な米景気指標が相次ぎ、7日にかけて一時83.70円まで円安ドル高が進行。もっとも、同日発表の事前予想対比低調となった米雇用統計を受け、ドル高は一服。その後は、欧州での債務問題鎮静化を受けたドルからユーロへの資金シフト、米中首脳会談を控えた人民元高観測等を背景に、19日にかけて81.85円までドルが弱含み。下旬以降は、20日に米中古住宅販売大幅増加、27日に日本国債格下げを受け、一時83円台前半まで円安ドル高に振れる局面はあったものの、積極的なドル買い材料も乏しく、総じて82円台での一進一退が持続。

(2) 今後の見通し

2011年を通して80円台を中心とした一進一退が続く見込み。

【ドル安要因】

- ①米国では追加経済対策が打ち出されたものの、景気の自律回復力が乏しいなか、2011年中の力強い景気回復・利上げ開始は期待薄
- ②「5年間で輸出倍増」を掲げるなど、米国当局が事実上緩やかなドル安を志向していること

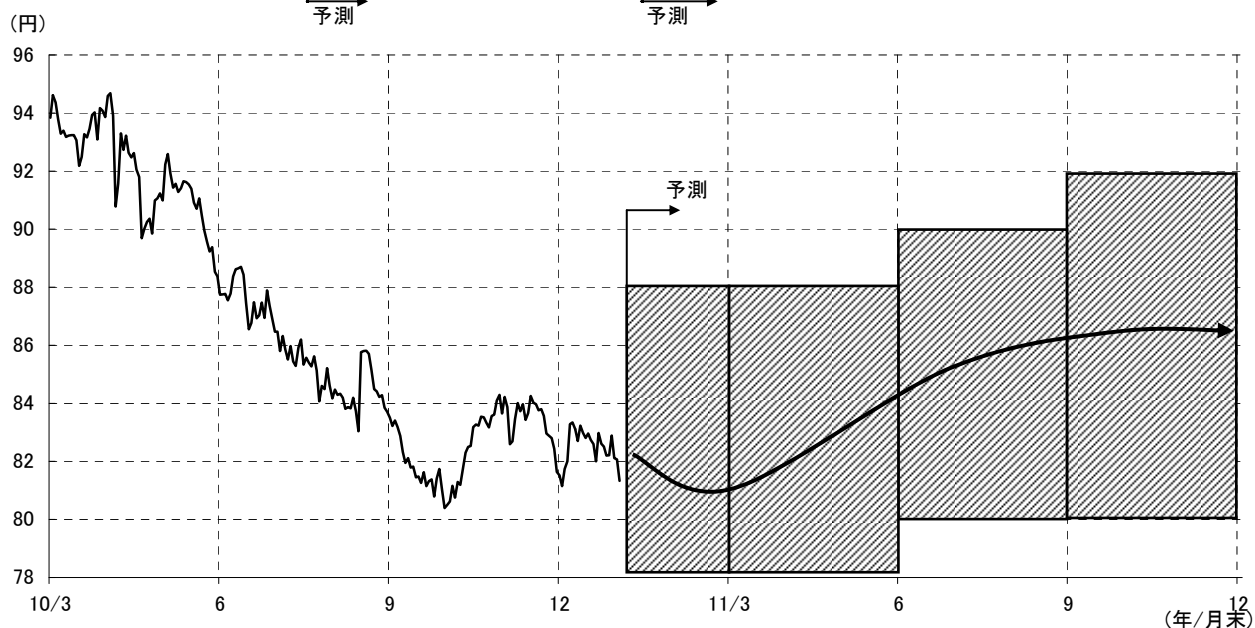
【円安要因】

- ①わが国経済においても、中長期的な成長期待が乏しいなど、積極的な円買い材料は乏しいこと
- ②一段の円高に対しては、政府・日銀が追加金融緩和や円売り介入を辞さない姿勢を示していること、等

こうした状況の下で、脆弱な雇用情勢を背景に、米国景気の減速懸念が払拭できない春頃までは80円台前半が中心レンジとなる見通し。

春以降は、米国景気の下振れリスクが後退するのに伴い80円台後半に中心レンジがシフトしていく見通し。

	2011年		2010年				
	1月	2月	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
期中平均	82.63	81	82.6	83	83	85	86
(高値)	83.70	84	84.5	88	88	90	92
予測レンジ	?	?	?	?	?	?	?
(安値)	80.93	78	80.2	78	78	80	80



2. ユーロ相場見通し

ユーロに対する信認低下・景気停滞長期化を背景に対ドル・対円ともにユーロ安基調に変化はない見通し。

(1) 1月の相場回顧

＜対ドル＞ 米国での良好な景気指標やポルトガルの金融支援要請観測を背景に、10日にかけて1.2860ドルまでユーロ安が進行。もっとも、11日の日本政府によるユーロ圏共同債購入表明や、ECBによるポルトガル国債買入れ増加観測、それに続く12日のポルトガル国債入札での順調な消化を受け、欧州債務問題を巡る混乱が一服。13日には、インフレ率上振れを受けたECB総裁によるインフレ警戒発言も加わり、ユーロ買戻しの動きが活発化し、27日にかけて一時1.3760ドルまでユーロ高が加速。

＜対円＞ ポルトガルの金融支援要請観測等から10日にかけて一時106.83円まで円高ユーロ安が進行。もっとも、11日のわが国政府によるEFSF債購入表明を受けユーロ安が一服。その後は、ポルトガルやイタリア等での順調な国債入札を受けた欧州債務問題を巡る混乱一服、ECB総裁によるインフレ警戒発言等を受けユーロ買戻しの動きが加速。世界的な株高を受けたリスク取引積極化も加わり、27日には一時114.02円まで円安ユーロ高が加速。もっとも月末には、エジプトでの反政府デモ拡大を受けたリスク回避の動きから、111円台までユーロが反落。

(2) 今後の見通し

＜対ドル＞ 短期的にはユーロが堅調に推移する可能性はあるものの、以下の要因を背景に、**中期的なユーロ安基調に変化はない見通し。**

①債務問題深刻化や域内景気格差など、構造問題頻出によるユーロに対する信認低下、②2011年入り以降、ドイツをはじめとした主要国で緊縮財政が本格化するなか、ユーロ圏景気は日米対比大きく見劣りする公算大、③それに伴うECBによる低金利政策の長期化およびギリシャ国債引受等によるECB資産劣化の懸念、④景気下支えに向けた欧州各国のユーロ安容認姿勢の強まり、等。

＜対円＞ 短期的にはユーロが堅調に推移する可能性はあるものの、以下の要因を背景に、**当面円高ユーロ安地合いに変化はない見通し。**①域内格差拡大等によるユーロに対する信認低下、②緊縮財政による2011年入り後の欧州景気の下振れ観測、③それに伴うECBによる低金利政策の長期化観測、等。

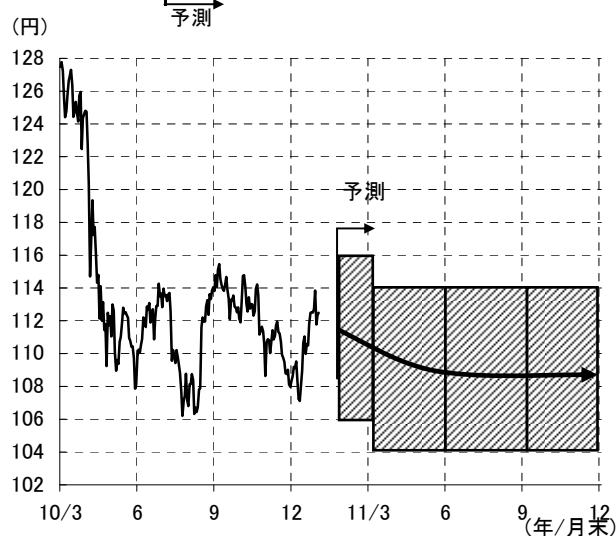
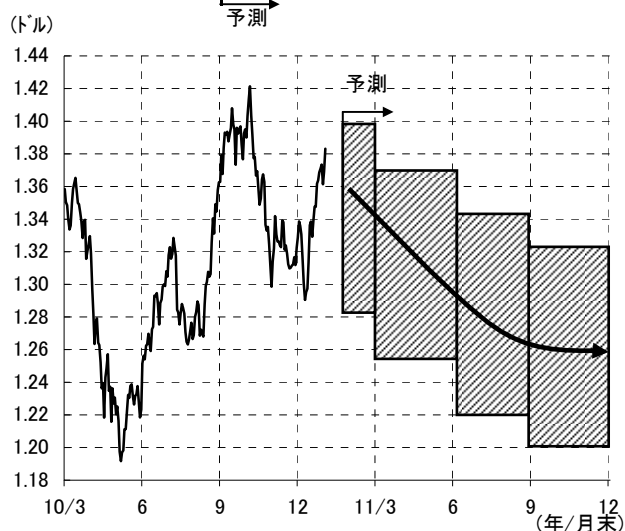
ただし、①中長期的な成長期待が乏しい等積極的な円買い材料を欠いていること、②一段の円高に対して、政府・日銀は追加金融緩和や円売り介入を辞さない姿勢を示していること、から**円高ユーロ安進行余地は限られる見通し。**

(USD)

(円)

	2010年	2011年			
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12
平均	1.358	1.34	1.31	1.28	1.26
(高値)	1.428	1.40	1.37	1.34	1.32
レンジ	1	1	1	1	1
(安値)	1.297	1.28	1.25	1.22	1.20

	2010年	2011年			
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12
平均	112.1	111	109	109	108
(高値)	115.7	116	114	114	114
レンジ	1	1	1	1	1
(安値)	107.6	106	104	104	104

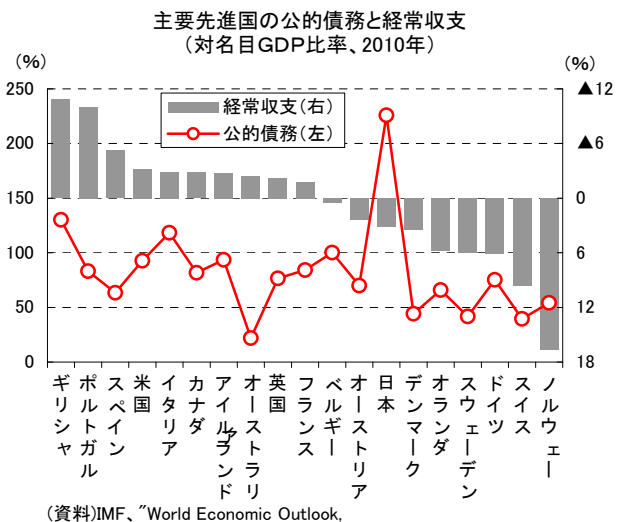
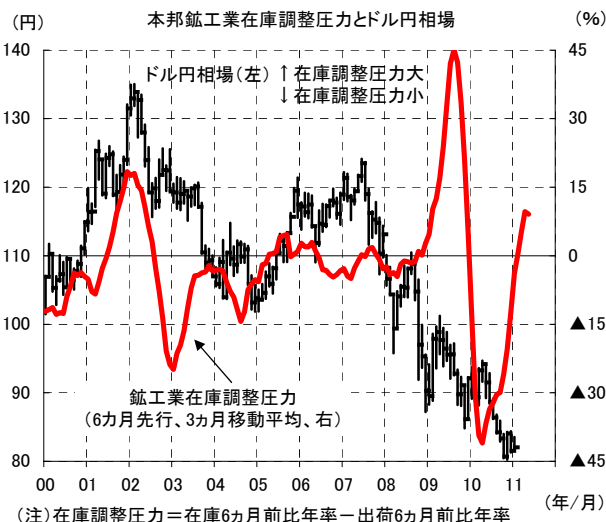
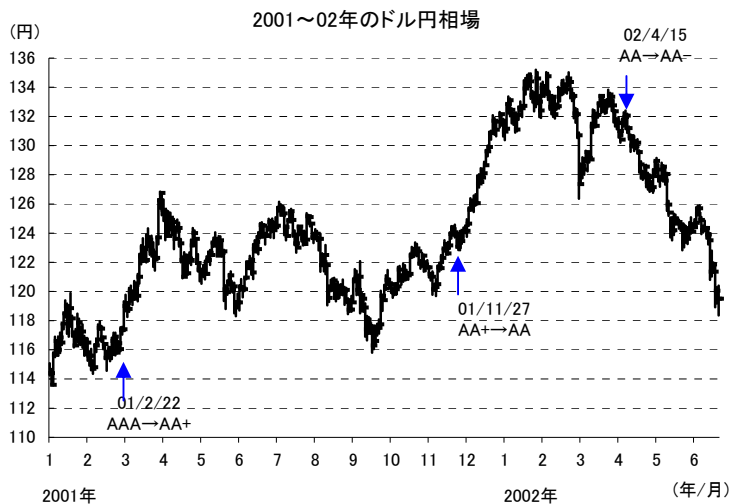


3. トピックス

(1) 日本国債格下げ: 短期的な反応にとどまる見通し。経常黒字を維持する限り、国債格下げが大幅な円安を招く公算は小。

1月27日、S & Pは日本国債の長期格付けをこれまでの「AA」から「AA-」に引き下げた。この発表を受け、対ドルで一時83.22円となるなど1円程度円安が進行したものの、円売りは半日程度で収まり、翌28日には再び82円を割り込む展開となっている。過去のS & Pによる日本国債格付け変更時の円相場をみると、発表直後は格下げなら円売り、格上げなら円高で反応するものの、振れは1日で収束しており、今回も過去と同様のパターンを辿っている。一方、時間軸を長くすると、「AA+」への格下げ(01年2月)、「AA」への格下げ時(01年11月)には、その数日後から円安が進行したものの、「AA-」への格下げ時(02年4月)にはその後円高が、「AA」への格上げ時(07年4月)には円安が進行しており、格付け変更は円相場の中期的な方向性に必ずしも影響を及ぼしていない。2001、2007年は、在庫調整圧力が強まり景気の一段の悪化が見込まれていたこと、2002年は同圧力が緩和し景気回復が期待されていたことを踏まえると、中期的には国債格付けよりもむしろ国内景気動向が主要な相場決定要因となっていたと判断される。減速傾向を強めていた国内景気に持ち直しの兆しが出始めるなか、今後の円相場は、それに伴って日本買いが生じるのか(→円高)、リスク取引積極化を通じて資本流出が加速するのか(→円安)、にかかっており、国債格下げを過度に円安材料視する必要はないだろう。

そもそも、日本は経常黒字国であり、財政赤字を自国内でファイナンスできている。また、世界最大の対外債権国でもあり、その意味で、国債格下げがあっても海外からの買い減少、売り圧力増大といった事態にはそもそもなり難い。実際、2008年のリーマンショック以降資金流出に見舞われたのは、ギリシャ・アイルランドなど経常赤字国に限られている。今回の格下げを機に財政再建への断固たる取り組みが求められるが、経常黒字が維持される限り、高水準の公的債務が大幅な円安を招くという事態は回避される可能性が高い。

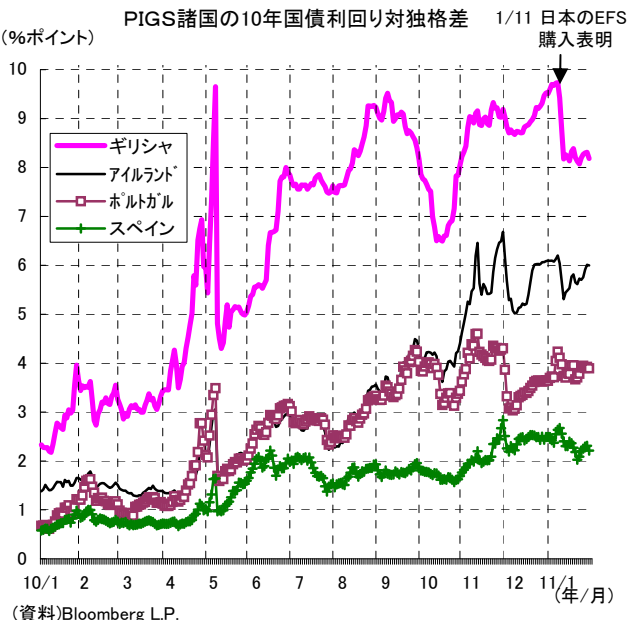
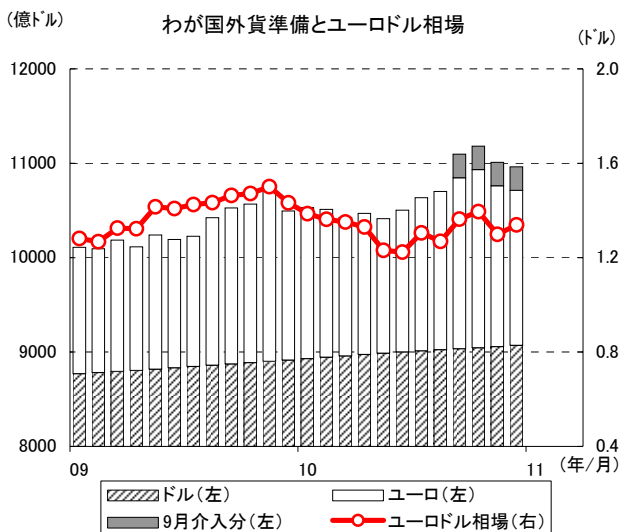


(2)EFSF債購入:短期的には対ユーロ・対ドルでの円高抑止に寄与。もともと、債務問題の根本解決がなければ、早晚ユーロ安再燃へ。

わが国政府は、1月11日、アイルランド支援のために発行されるEFSF債(欧州金融安定化債)を1,000億円規模(約10億ユーロ)購入すると表明した。購入に当たっては、1.1兆ドルにのぼる外貨準備のうち、約2,000億ドル程度とみられるユーロ建資産の一部入れ替えにより対応する方針で、為替相場への直接的な影響は生じない見込み。

わが国政府によるEFSF債購入表明、及び、その直前の中国政府によるスペイン債購入表明は、欧州国債に対する警戒感を和らげ、結果として、その後のポルトガルやスペインでの国債入札は順調に消化され、PIGS諸国の10年債利回りは大きく低下した。①欧州域内での10年債利回り対独格差の拡大が対ドル、対円ともにユーロ安に作用していたこと、②ドル円相場においても、欧州信用不安の深刻化が株安等を通じてリスク回避に伴う消去法的な円買いを招いていたこと、等を踏まえると、今回の政府の対応は、欧州金融市場の不安沈静化、並びに不測の円高を回避するという点で極めて効果的に作用したといえる。

とはいえ、EFSF債が順調に消化されたからといって、欧州の債務問題が解決するわけでもない。共通通貨ユーロの下では、ドイツなど中心国による景気下支え、財政面からの支援がなければ、周辺国の財政再建は覚束ず、公的債務名目GDP比率は上昇の一途をたどりかねない。財政面での協調強化といった債務問題解決に向けた道筋が見えない限り、10年債利回り域内格差の顕著な縮小は期待できず、ユーロ安リスク、信用不安再燃に伴う円独歩高のリスクは容易には払拭されない見通し。

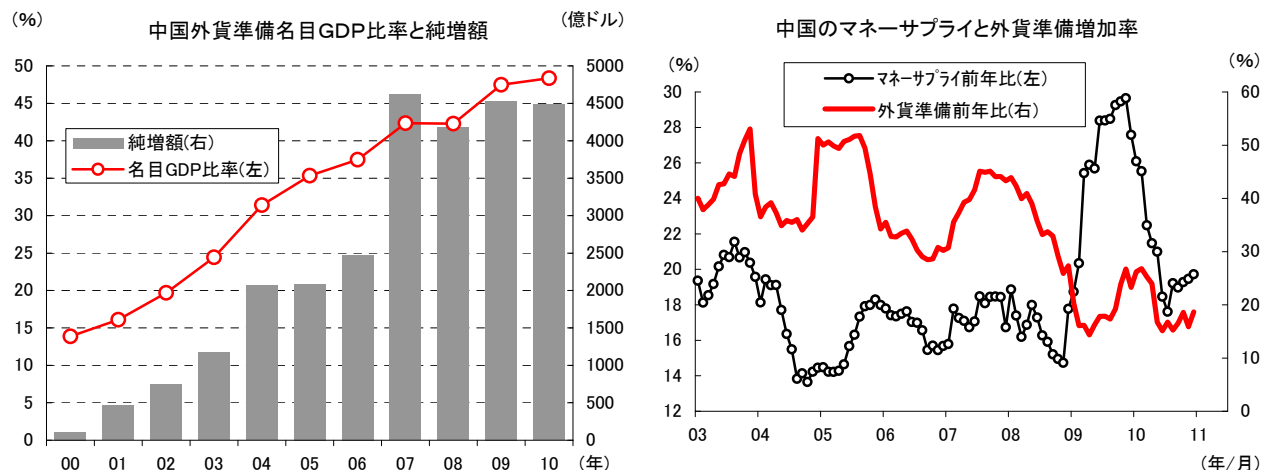
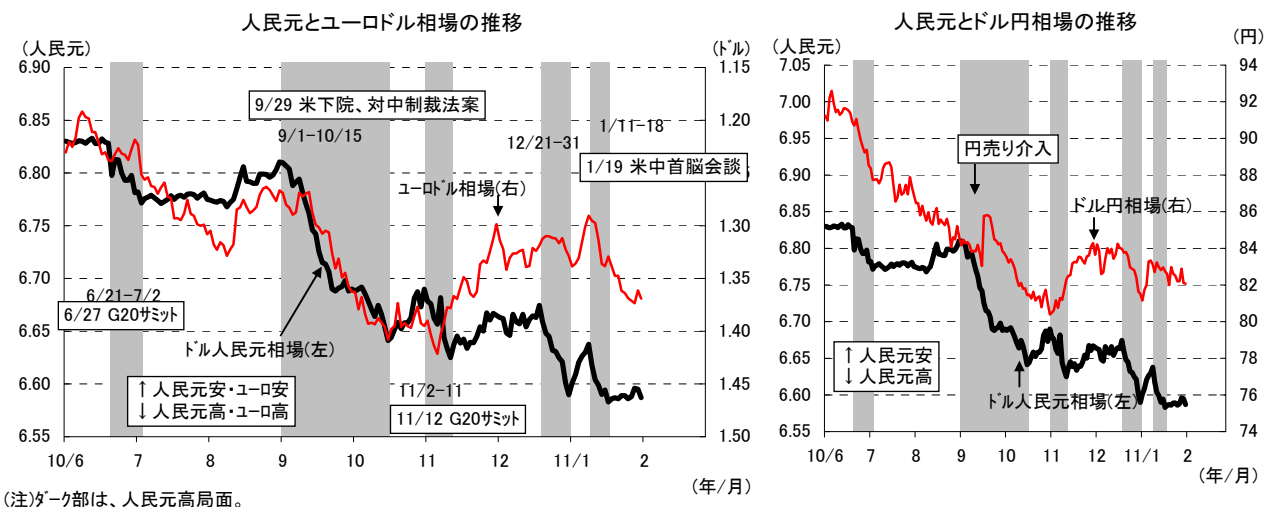


(3)人民元の上昇パターン:政治イベント前に上昇し、その後は横這いへ。ただし、外貨準備急増の弊害大きく、大幅切り上げが不可欠に。

年明け以降、対ドルで人民元高が進行した。しかし、人民元高が進行したのは、米中首脳会談開催前日(18日)まで。通貨バスケットに従えば、対ドルでユーロ高が進行するなか、月末にかけて対ドルで一段の人民元高となるはずであるが、実際は対ドルでほぼ横這い推移となっている。過去の動きをみても、昨年6月、11月ともにG20サミットに向けて対ドルで人民元高が進行、その後は人民元高が止まっており、結局、重大な政治的なイベントに向けて、諸外国からの人民元高要請に応える形で人民元高が進行、イベント通過後は人民元高ストップないし反落というパターンが繰り返されている。これまでのパターンを踏襲すれば、2月18~19日にG20財務相・中央銀行総裁会議を控えるなか、2月入り以降対ドルでの人民元高ペースが速まる可能性がある。

以上のように、人民元は多分に政治的道具として利用されているが、経済的にみれば、人民元大幅切り上げの必要性は一段と増している。すなわち、中国の外貨準備は2007年以降毎年4,500億ドル前後増加しており、その規模は名目GDP比48%にまで達している。これだけの追加資金を運用できる市場は、結局米国・日本・欧州の債券市場しかなく、商品などその他市場では、中国マネーが「池の中の鯨」となってあらゆる価格を異常な水準にまで押し上げかねない状況となっている。日米欧での財政赤字悪化リスクが増大するなか、元高回避は結局日米欧、とりわけ米国の財政リスクを引き受けることと同義となっており、いつまでも野放図にドル買い介入、外貨準備大幅増加を続けるわけには行かなくなるだろう。国内金融面からみても、中国政府がインフレや資産バブル抑制に大きく舵を切るなか、外貨準備の一段の増加を放置できなくなってこよう。すなわち、中国では、ドル買いの対価として放出された人民元資金が、金融市場の未整備から十分に不胎化されておらず、結果として外貨準備が増加するとマネーサプライも増加する構図となっている。人民元高を容認し、過剰流動性の発生を抑制しなければ、インフレ・バブル抑制策も画に描いた餅になりかねない。中国当局は、緩やかなペースでの人民元高方針を打ち出しているものの、以上のような状況を踏まえると、今後元高ペースが速まってもおかしくはないだろう。

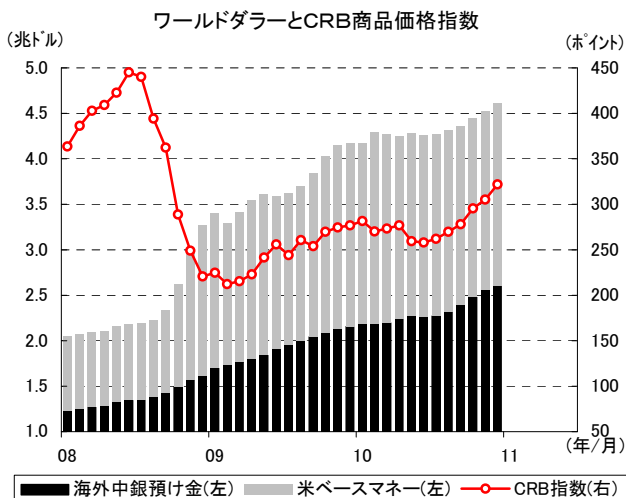
いずれにせよ、これまで対ドルで人民元高が進行する局面では、円もつれ高となっており、人民元の動向次第では思わぬ円高が生じるリスクがあろう。



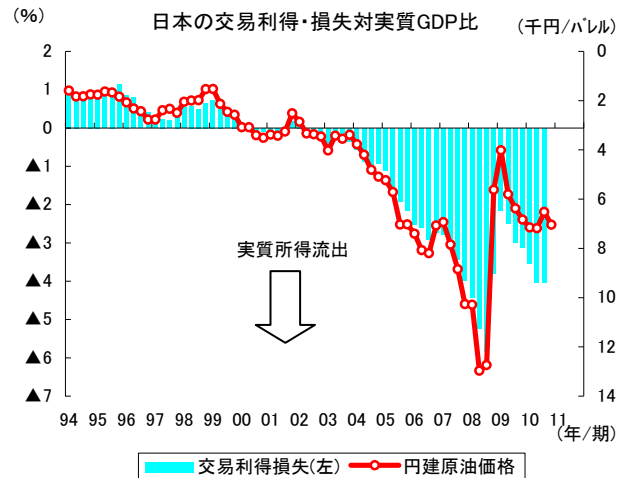
(4)資源価格高騰：円高は過度な所得流出の防止という点でむしろプラス。韓国ウォン・台湾ドル高が進めば、円高による悪影響も減殺。

資源価格が高騰している。金先物は、年初に史上最高値となる1,422ドルまで上昇したほか、CRB商品指数は、2008年秋以来となる334ポイントまで上昇している。資源価格高騰の背景には、中国をはじめとした新興国での需要増大があり、早期に鎮静化するものではないものの、米国の量的緩和、それに伴うドル安が需給実勢以上に価格高騰を煽っている側面も否定できない。すなわち、CRB指数の上昇ペースは、2009年以降ワールドダラー（米国のベースマネー＋海外中銀による米国への預け金）の増加ペースと軌を一にしており、米国での量的緩和、並びに、新興国を中心とした自国通貨高回避のためのドル買い介入が、過剰流動性を生み、結果として資源価格高騰を招いている。少なくとも米国の量的緩和が終了するまでは、資源価格の上昇基調が続く可能性が高い。

こうした資源価格の高騰は、資源輸入国にとっては交易条件を悪化させ、実質所得の海外流出をもたらす。円ベースでみた商品価格は円高により上昇ペースが緩慢にとどまっているものの、今後ドル建商品価格が一段と上昇する、あるいは、円安が進行すれば、既に▲4%に及んでいる日本の交易損失対実質GDP比が一段と悪化し、国内需要を大きく下押す要因となる。ちなみに、今回の資源価格高騰は、2008年と異なり穀物などあらゆる商品で満遍なく上昇しており、円建原油価格があと3割程度上昇すれば、交易損失が実質GDP比で過去最大規模に達する恐れ。具体的には、原油価格が1バレル100ドルまで上昇した場合、円ドル相場が90円を超えて円安が進行すれば、2008年夏以上に実質的な所得流出が発生すると試算される。円安による大幅な業績改善・輸出増加を通じて、雇用増・賃金増が生じなければ、かえって経済が疲弊しかねない。実力を大きく超える円高に対しては当然断固たる措置が必要ながら、資源価格の高騰が続く限りは、円高傾向の展開は必ずしもマイナスとは言い切れない。加えて、中国のOECD景気先行指数が上向きに転じるなど、昨年秋以降減速感が出ていた世界経済に再浮揚の兆しが出始めている。世界経済が再び浮揚すれば、わが国製造業と競合する韓国ウォンや台湾ドルは、景気敏感通貨として対ドルで上昇する可能性が高い。韓国ウォンや台湾ドルが顕著に上昇すれば、円高による輸出面でのマイナス影響もある程度減殺されよう。



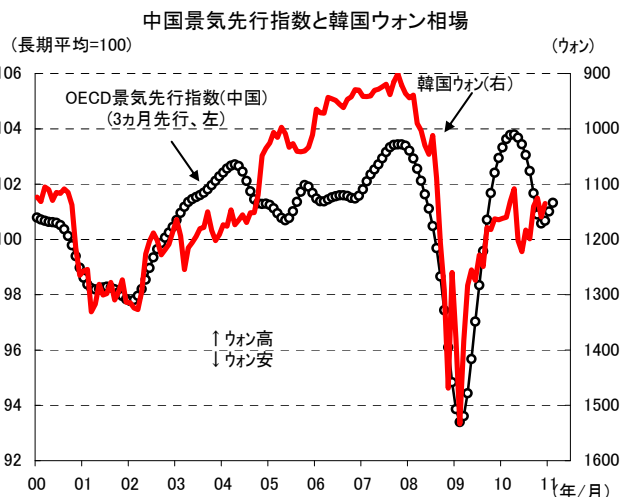
(資料)FRB, Bloomberg L.P.



交易損失GDP比からみた円建原油価格シミュレーション

原油価格 (ドル)	ドル円相場(円)	
	交易損失が 10/10～12月期 と同水準	交易損失が過去 最悪となる水準
80	88	113
90	78	101
100	70	91
110	64	82
120	59	75

(注)最悪水準は09/2Q～10/1Qまでの円建原油価格と交易損失GDP比との関係を基に試算。



4. ドル円相場・チャート分析

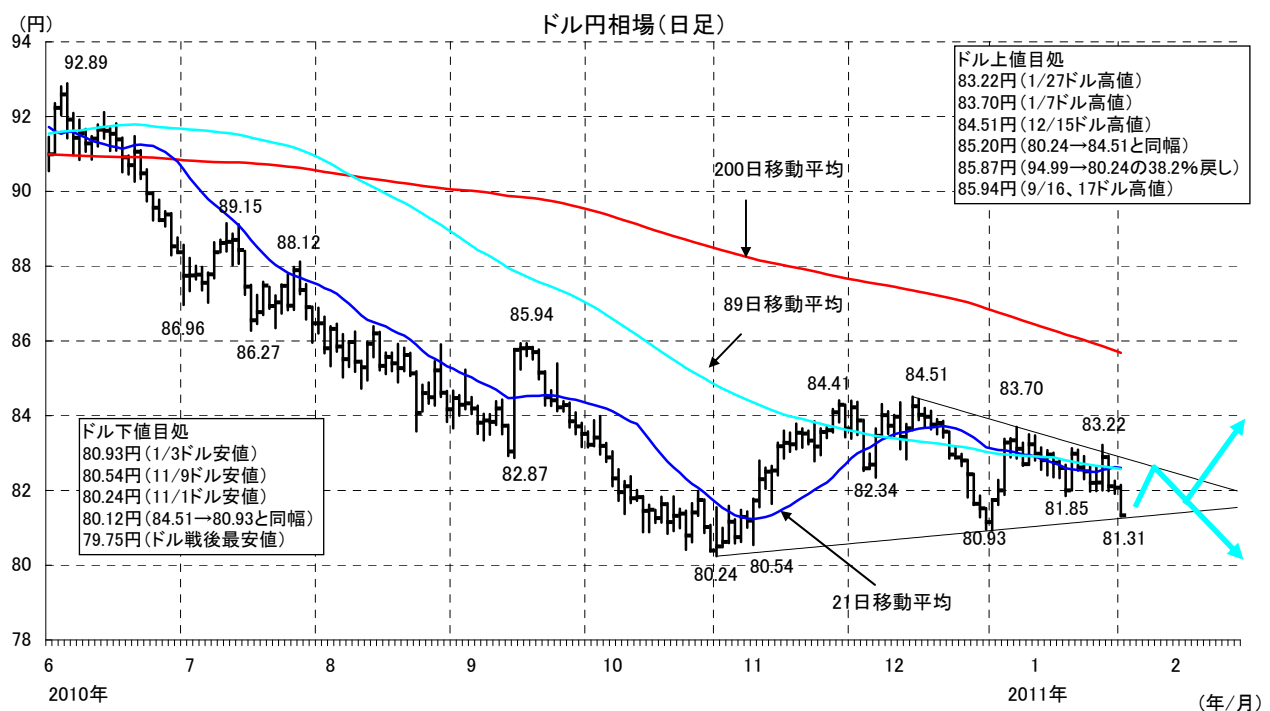
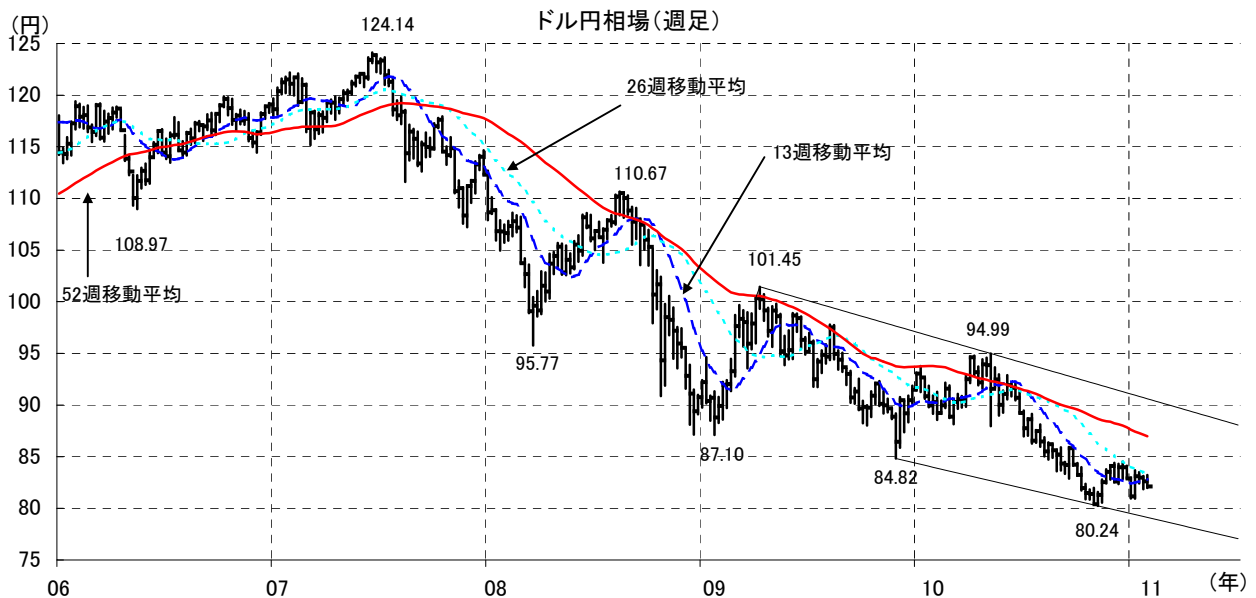
持合いが煮詰まるなか、早晩いずれかの方向に動意付く可能性。ドル上振れなら、85円台、下振れなら80円割れが視野に。

<週足チャート（2/1時点での見解）>

- ・足許83円台半ばに位置する26週線がドルの上値抑制に作用。同線を上抜けない限り、ドル下値模索の展開から抜け出せず、直近ドル安値(80.24円)も視野に。同水準を下抜けると、昨年来のドル下値支持線が控える79円前後までドル安が進行する可能性。
- ・一方、26週線を上抜ければ、52週線が控える87円前後までのドル反発も視野に。

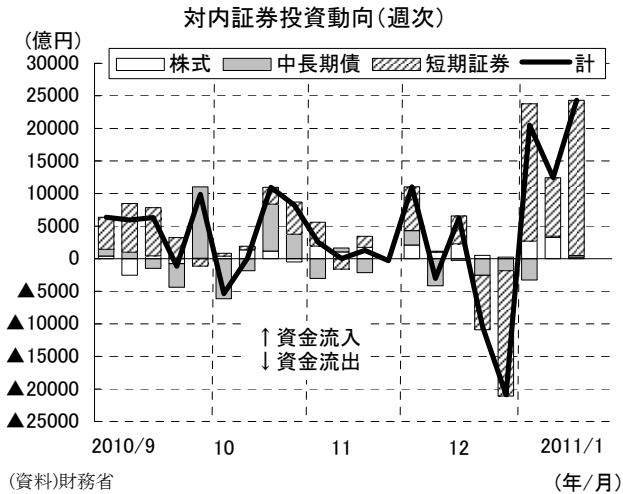
<日足チャート（2/1時点での見解）>

- ・昨年11月以降、三角持合いを形成中。短期的には82円台を中心とした推移が続く可能性があるものの、持合いが煮詰まりつつあるなか、2月中旬までにはいずれか一方にブレイクする可能性。
- ・ドル高方向にブレイクすれば、少なくとも直近ドル高値(84.51円)、これを上抜ければ200日線が控える85円台後半までのドル高が期待可能。一方、ドル安方向にブレイクすれば、昨年来ドル安値(80.24円)、これを下抜けると、戦後ドル最安値(79.75円)までドル安が加速する可能性も。

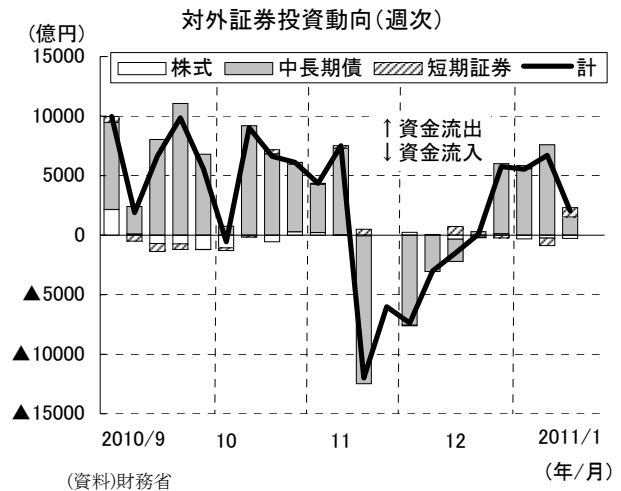


5. 為替関連指標

<対内対外証券投資動向>

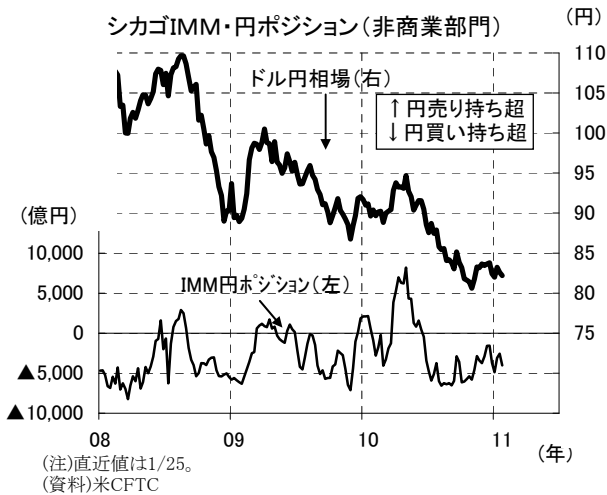


年明け以降短期債投資が急増。中国による外貨準備運用等の可能性もあり、投機的な円買いを煽る可能性も。

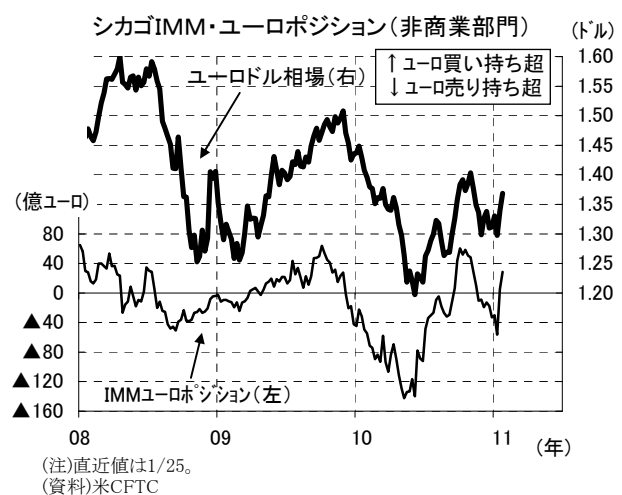


昨年11月中旬以降の債券投資圧縮の動きは一巡したものの、対外投資は引き続き低調。円安への動意はみられず。

<シカゴIMM(通貨先物)ポジション>

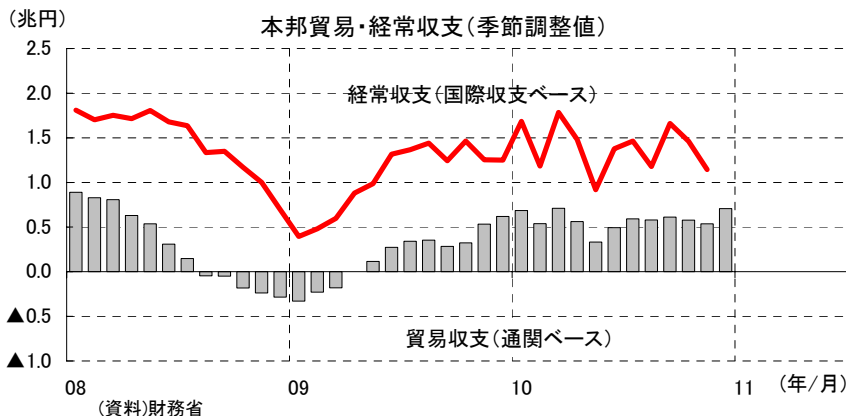


円買い持ちが持続。買い持ち解消により85円前後までの円安余地がある一方、買い持ち拡大により、80円前後までの円高余地も残存。



ユーロ買い持ち超に転換。その持続性には疑問符がつくものの、短期的にはユーロ買い余力大きい状況下、ユーロ一段高の公算。

<本邦貿易・経常収支>



12月の貿易収支は、輸出がアジア向けのみならず米国向けでも好調に推移し、黒字額は08/1以来の水準に拡大。世界的な景気持ち直しの兆候が出始めているものの、円高効果の残存、原油高を受け、先行き大幅な黒字拡大には至らない見通し。

内外市場動向（2011年1月）

	ドル金利							円金利							ドル金利		為替相場							株式相場			石油 (WTI) 先物 (\$/B)	金 (COMEX) 先物 (\$/TO)	CRB 商品 指数	
	Fed Fund		ユー・ロ・ ドル 3ヵ月	ユー・ロ・\$ 先物 価格	10年 国債 金利	30年 国債 金利	T-Bond 先物 価格	無担 コール O/N	CD 3M	ユー・ロ・\$ 3M	ユー・ロ・\$ 先物 価格	円・円 スワップ 5 Y	10年 国債 金利	円債 先物 価格	ユー・ロ・ ドル 3ヵ月	10年 国債 金利	円/ドル 東京 17:00	対ドル(NY 終値)				対円(NY 終値)			日経平均 225種 (円)	NY ダウ 工業株 (ドル)				NASDAQ (ドル)
	O/N																	EUR	SFr	STG	EUR	SFr	STG							
	終値	実効																												
2010年			(Mar)			(Mar)				(Sep)			(Mar)													(Feb)	(Feb)			
12/27	0.06	0.19	0.39	99.59	3.33	4.40	121.08	0.083	0.25	0.34	99.63	0.62	1.17	139.85	0.94	3.03	82.76	82.81	1.3164	0.9601	1.5422	109.01	86.25	127.68	10355.99	11555.03	2667.27	91.00	1382.9	329.11
28	0.20	0.18	0.39	99.60	3.48	4.53	119.11	0.080	0.25	0.34	99.64	0.59	1.14	140.21	0.94	2.98	82.42	82.39	1.3114	0.9522	1.5368	108.06	86.53	126.61	10292.63	11575.54	2662.88	91.49	1405.6	331.43
29	0.21	0.18	0.39	99.62	3.35	4.43	121.10	0.080	0.25	0.34	99.64	0.61	1.16	140.05	0.94	3.02	82.06	81.62	1.3225	0.9456	1.5500	107.94	86.33	126.50	10344.54	11585.38	2666.93	91.12	1413.5	330.71
30	0.21	0.19	0.39	99.63	3.36	4.42	121.00	0.079	0.25	0.34	99.65	0.58	1.11	140.61	0.94	2.96	81.51	81.53	1.3289	0.9352	1.5427	108.33	87.18	125.78	10228.92	11569.71	2662.98	89.84	1405.9	327.11
31	0.10	0.13	0.39	99.64	3.29	4.33	122.04	close	close	close	close	close	close	close	0.94	2.96	close	81.16	1.3387	0.9346	1.5612	108.50	86.82	126.65	close	11577.51	2652.87	91.38	1421.4	332.80
11/1/1																														
2																														
3	0.20	0.19	0.39	99.64	3.33	4.40	121.16	close	close	close	close	close	close	close	0.94	2.92	close	81.74	1.3361	0.9334	1.5489	109.20	87.57	126.60	close	11670.75	2691.52	91.55	1422.9	333.02
4	0.20	0.18	0.39	99.64	3.33	4.41	121.10	0.080	0.25	0.34	99.65	0.60	1.17	140.28	0.94	2.89	82.27	82.04	1.3308	0.9486	1.5587	109.18	86.49	127.88	10398.10	11691.18	2681.25	89.38	1378.8	327.73
5	0.20	0.18	0.39	99.63	3.47	4.54	119.15	0.079	0.25	0.34	99.65	0.59	1.16	140.44	0.93	2.94	81.95	83.25	1.3150	0.9659	1.5515	109.47	86.17	129.16	10380.77	11722.89	2702.20	90.30	1373.7	329.20
6	0.20	0.17	0.39	99.61	3.39	4.51	120.03	0.079	0.25	0.34	99.63	0.65	1.21	139.65	0.93	2.91	83.12	83.33	1.3003	0.9655	1.5472	108.36	86.31	128.92	10529.76	11697.31	2709.89	88.38	1371.7	325.07
7	0.19	0.17	0.39	99.60	3.32	4.48	120.31	0.094	0.25	0.34	99.63	0.65	1.20	139.71	0.93	2.87	83.47	83.15	1.2907	0.9674	1.5547	107.31	85.94	129.26	10541.04	11674.76	2703.17	88.03	1368.9	323.94
8																														
9											(Dec)																			
10	0.19	0.17	0.39	99.61	3.28	4.46	121.06	close	close	close	close	close	close	close	0.93	2.87	close	82.71	1.2951	0.9676	1.5572	107.12	85.48	128.80	close	11637.45	2707.80	89.25	1374.1	326.85
11	0.17	0.17	0.39	99.62	3.34	4.49	120.31	0.080	0.25	0.34	99.64	0.62	1.19	140.02	0.93	2.93	83.10	83.24	1.2974	0.9737	1.5599	108.00	85.49	129.85	10510.68	11671.88	2716.83	91.11	1384.3	331.46
12	0.16	0.16	0.39	99.64	3.37	4.53	120.25	0.081	0.25	0.34	99.62	0.62	1.18	140.16	0.93	3.05	83.01	83.00	1.3134	0.9666	1.5767	109.00	85.87	130.85	10512.80	11755.44	2737.33	91.86	1385.8	334.88
13	0.18	0.16	0.39	99.65	3.30	4.50	121.15	0.089	0.25	0.34	99.63	0.63	1.19	140.03	0.93	3.04	83.00	82.82	1.3366	0.9639	1.5838	110.67	85.91	131.14	10589.76	11731.90	2735.29	91.40	1387.0	333.00
14	0.18	0.16	0.39	99.65	3.32	4.53	120.29	0.086	0.25	0.34	99.63	0.63	1.20	140.05	0.94	3.03	82.51	82.87	1.3388	0.9634	1.5869	110.96	86.00	131.49	10499.04	11787.38	2755.30	91.54	1360.5	333.06
15																														
16																														
17	close	close	0.39	close	3.33	4.53	close	0.084	0.25	0.34	99.62	0.64	1.21	139.88	0.94	3.04	82.90	82.68	1.3294	0.9646	1.5887	109.91	85.71	131.35	10502.86	close	close	close	close	close
18	0.20	0.19	0.39	99.65	3.37	4.56	120.14	0.084	0.25	0.34	99.62	0.65	1.23	139.75	0.94	3.12	82.53	82.60	1.3387	0.9634	1.5962	110.57	85.72	131.84	10518.98	11837.93	2765.85	91.38	1368.2	333.78
19	0.19	0.18	0.39	99.65	3.34	4.53	121.00	0.082	0.25	0.34	99.61	0.69	1.26	139.25	0.95	3.11	82.06	82.02	1.3473	0.9549	1.5996	110.49	85.90	131.19	10557.10	11825.29	2725.36	90.86	1370.2	333.43
20	0.10	0.18	0.39	99.65	3.45	4.61	119.15	0.085	0.25	0.34	99.62	0.65	1.20	139.73	0.95	3.16	82.20	83.00	1.3472	0.9674	1.5897	111.81	85.81	131.95	10437.31	11822.80	2704.29	88.86	1346.5	331.90
21	0.18	0.17	0.39	99.66	3.40	4.57	120.03	0.085	0.25	0.34	99.62	0.65	1.21	139.74	0.96	3.18	82.77	82.57	1.3622	0.9584	1.6000	112.48	86.14	132.10	10274.52	11871.84	2689.54	89.11	1341.0	333.99
22																												(Mar)		
23																														
24	0.18	0.18	0.39	99.66	3.40	4.56	120.10	0.085	0.25	0.34	99.62	0.66	1.23	139.61	0.97	3.15	82.83	82.53	1.3638	0.9492	1.5988	112.54	86.94	131.95	10345.11	11980.52	2717.55	87.87	1344.5	332.70
25	0.18	0.17	0.39	99.66	3.33	4.49	121.23	0.082	0.25	0.34	99.62	0.68	1.25	139.39	0.97	3.14	82.40	82.26	1.3682	0.9423	1.5817	112.54	87.29	130.11	10464.42	11977.19	2719.25	86.19	1332.3	327.57
26	0.18	0.17	0.39	99.66	3.41	4.59	120.02	0.095	0.25	0.34	99.63	0.66	1.24	139.61	0.99	3.19	82.14	82.17	1.3713	0.9420	1.5935	112.68	87.24	130.94	10401.90	11985.44	2739.50	87.33	1333.0	322.83
27	0.16	0.17	0.39	99.66	3.39	4.57	120.23	0.088	0.25	0.34	99.63	0.65	1.25	139.78	1.00	3.21	82.85	82.92	1.3733	0.9455	1.5928	113.89	87.71	132.09	10478.66	11989.83	2755.28	85.64	1318.4	331.39
28	0.18	0.17	0.39	99.66	3.32	4.53	121.14	0.087	0.25	0.34	99.63	0.64	1.22	139.92	1.01	3.15	82.65	82.13	1.3611	0.9419	1.5859	111.77	87.18	130.24	10360.34	11823.70	2686.89	89.34	1340.7	335.44
29																														
30																													(Apr)	
31	0.20	0.17	0.39	99.66	3.37	4.57	120.20	0.087	0.25	0.34	99.63	0.64	1.22	140.02	1.02	3.16	82.04	82.04	1.3694	0.9440	1.6013	112.34	86.92	131.38	10237.92	11891.93	2700.08	92.19	1334.5	341.42
2/1	0.20		0.40	99.66	3.44	4.62	119.30	0.088	0.25	0.34	99.62	0.65	1.23	139.72	1.03	3.22	81.79	81.35	1.3829	0.9353	1.6142	112.50	86.97	131.33	10274.50	12040.16	2751.19	90.77	1340.3	342.17
2																														
3																														
1月AVG	0.18	0.17	0.39	99.64	3.36	4.52	120.23	0.085	0.25	0.34	99.63	0.64	1.21	139.84	0.95	3.05	82.62	82.62	1.3374	0.9566	1.5787	110.49	86.37	130.43						

内外市場データ（月中平均）

	短期金利		ユーロ円(TIBOR)		円・円スワップ			国債 10年物 (%)	プライムレート		為替相場		日経平均 株価 (円)	米国市場				欧州市場	
	公定歩合 (%)	無担0/N (%)	3カ月 (%)	6カ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年 (%)		短期 (%)	長期 (%)	¥/\$	¥/Eur		F F 0/N	ユーロ3ヵ月	10年国債	N Y ダウ 工業株	ユーロ3ヵ月	10年国債
07/6	0.75	0.507	0.69	0.77	1.19	1.66	2.08	1.88	1.875	2.45	122.62	164.48	17942.18	5.25	5.35	5.10	13480.21	4.15	4.58
07/7	0.75	0.499	0.75	0.83	1.21	1.66	2.10	1.88	1.875	2.55	121.59	166.68	17974.77	5.26	5.35	4.99	13677.89	4.22	4.52
07/8	0.75	0.485	0.80	0.87	1.11	1.43	1.87	1.66	1.875	2.55	116.72	158.98	16460.95	5.04	5.52	4.68	13239.71	4.55	4.30
07/9	0.75	0.510	0.84	0.90	1.08	1.36	1.79	1.60	1.875	2.25	115.02	159.64	16235.39	4.97	5.53	4.51	13557.69	4.74	4.24
07/10	0.75	0.506	0.84	0.91	1.10	1.37	1.83	1.65	1.875	2.45	115.74	164.74	16903.36	4.75	5.15	4.51	13901.28	4.68	4.29
07/11	0.75	0.500	0.85	0.91	1.02	1.27	1.71	1.51	1.875	2.20	111.21	163.28	15543.76	4.50	5.02	4.14	13200.58	4.64	4.10
07/12	0.75	0.497	0.86	0.91	0.97	1.24	1.70	1.53	1.875	2.30	112.34	163.50	15545.07	4.22	5.17	4.09	13406.99	4.85	4.24
08/1	0.75	0.502	0.85	0.89	0.83	1.09	1.60	1.42	1.875	2.10	107.66	158.14	13731.31	3.93	3.93	3.72	12538.12	4.48	4.05
08/2	0.75	0.504	0.85	0.88	0.89	0.96	1.64	1.44	1.875	2.15	107.16	158.18	13547.84	2.97	3.12	3.73	12419.57	4.36	3.96
08/3	0.75	0.511	0.86	0.89	0.92	1.08	1.51	1.30	1.875	2.10	100.79	156.28	12602.93	2.60	2.85	3.48	12193.88	4.60	3.81
08/4	0.75	0.506	0.84	0.88	0.98	1.16	1.59	1.41	1.875	2.10	102.49	161.53	13357.70	2.26	3.02	3.64	12656.63	4.78	4.05
08/5	0.75	0.505	0.84	0.88	1.18	1.47	1.87	1.67	1.875	2.40	104.14	162.05	13995.33	1.99	2.84	3.87	12812.48	4.86	4.20
08/6	0.75	0.509	0.84	0.89	1.30	1.62	1.99	1.75	1.875	2.45	106.90	166.23	14084.60	2.00	2.95	4.08	12056.67	4.94	4.55
08/7	0.75	0.503	0.85	0.90	1.18	1.44	1.82	1.60	1.875	2.40	106.81	168.35	13168.91	2.02	3.00	3.97	11322.38	4.96	4.50
08/8	0.75	0.504	0.85	0.89	1.01	1.26	1.66	1.45	1.875	2.25	109.28	163.75	12989.35	1.99	3.00	3.88	11530.75	4.96	4.22
08/9	0.75	0.495	0.85	0.90	1.05	1.31	1.69	1.48	1.875	2.30	106.75	153.25	12123.53	1.86	3.95	3.68	11114.08	5.02	4.10
08/10	0.50	0.487	0.88	0.91	1.02	1.27	1.55	1.50	1.875	2.35	100.33	133.49	9117.03	1.01	5.31	3.78	9176.71	5.11	3.90
08/11	0.50	0.301	0.82	0.86	0.89	1.13	1.48	1.46	1.675	2.40	96.81	123.25	8531.45	0.39	3.11	3.46	8614.55	4.23	3.57
08/12	0.30	0.211	0.86	0.88	0.85	1.02	1.32	1.31	1.675	2.40	91.28	122.79	8463.62	0.17	2.47	2.40	8595.56	3.29	3.06
09/1	0.30	0.120	0.73	0.78	0.75	0.94	1.26	1.25	1.475	2.25	90.41	119.68	8331.49	0.15	1.73	2.47	8396.20	2.45	3.09
09/2	0.30	0.111	0.71	0.77	0.72	0.89	1.19	1.29	1.475	2.25	92.50	118.33	7694.78	0.22	1.65	2.85	7749.01	1.96	3.17
09/3	0.30	0.100	0.68	0.75	0.74	0.91	1.25	1.30	1.475	2.25	97.87	127.44	7764.58	0.18	1.62	2.80	7235.47	1.63	3.06
09/4	0.30	0.104	0.62	0.72	0.75	0.99	1.39	1.44	1.475	2.30	99.00	130.50	8767.96	0.15	1.49	2.90	7992.12	1.42	3.19
09/5	0.30	0.102	0.58	0.70	0.69	0.94	1.36	1.44	1.475	2.10	96.30	131.92	9304.43	0.17	1.23	3.30	8398.37	1.28	3.42
09/6	0.30	0.104	0.56	0.68	0.68	0.92	1.41	1.47	1.475	2.10	96.52	135.46	9810.31	0.21	1.07	3.70	8593.00	1.23	3.55
09/7	0.30	0.102	0.56	0.67	0.62	0.86	1.37	1.34	1.475	1.90	94.50	133.00	9691.12	0.16	0.91	3.53	8679.75	0.95	3.36
09/8	0.30	0.106	0.55	0.66	0.60	0.88	1.46	1.37	1.475	1.95	94.84	135.40	10430.35	0.16	0.69	3.57	9375.06	0.83	3.33
09/9	0.30	0.102	0.53	0.65	0.56	0.83	1.41	1.31	1.475	1.80	91.49	132.80	10302.87	0.15	0.53	3.39	9634.97	0.73	3.29
09/10	0.30	0.106	0.53	0.64	0.58	0.86	1.47	1.33	1.475	1.70	90.29	133.87	10066.24	0.12	0.49	3.36	9857.34	0.69	3.23
09/11	0.30	0.105	0.52	0.63	0.56	0.83	1.48	1.35	1.475	1.85	89.19	132.98	9640.99	0.12	0.45	3.38	10227.55	0.67	3.28
09/12	0.30	0.101	0.47	0.59	0.48	0.71	1.39	1.26	1.475	1.65	89.55	130.95	10169.01	0.12	0.45	3.59	10433.44	0.67	3.23
10/1	0.30	0.096	0.45	0.57	0.48	0.72	1.42	1.33	1.475	1.65	91.16	130.30	10661.62	0.12	0.43	3.71	10471.24	0.63	3.29
10/2	0.30	0.101	0.44	0.56	0.47	0.72	1.41	1.33	1.475	1.65	90.28	123.58	10175.13	0.13	0.40	3.68	10214.51	0.60	3.19
10/3	0.30	0.097	0.44	0.55	0.46	0.71	1.40	1.34	1.475	1.60	90.52	122.96	10671.49	0.16	0.40	3.71	10677.52	0.59	3.13
10/4	0.30	0.093	0.41	0.52	0.47	0.72	1.40	1.35	1.475	1.65	93.38	125.57	11139.77	0.20	0.40	3.82	11052.15	0.59	3.09
10/5	0.30	0.091	0.39	0.50	0.48	0.69	1.34	1.27	1.475	1.60	91.74	114.68	10103.98	0.20	0.49	3.40	10500.19	0.63	2.80
10/6	0.30	0.095	0.39	0.50	0.47	0.65	1.27	1.20	1.475	1.45	90.92	110.99	9786.05	0.18	0.61	3.19	10159.25	0.66	2.63
10/7	0.30	0.094	0.37	0.49	0.45	0.59	1.16	1.09	1.475	1.45	87.72	111.81	9456.84	0.18	0.61	2.98	10222.24	0.79	2.65
10/8	0.30	0.095	0.37	0.49	0.43	0.54	1.04	0.98	1.475	1.45	85.47	110.36	9268.24	0.19	0.51	2.68	10350.40	0.83	2.37
10/9	0.30	0.090	0.36	0.47	0.41	0.55	1.13	1.06	1.475	1.45	84.38	109.94	9346.72	0.20	0.43	2.64	10598.07	0.83	2.34
10/10	0.30	0.091	0.34	0.45	0.38	0.47	0.97	0.89	1.475	1.30	81.87	113.65	9455.09	0.19	0.40	2.51	11044.49	0.94	2.37
10/11	0.30	0.091	0.34	0.45	0.40	0.55	1.12	1.05	1.475	1.40	82.48	112.64	9797.18	0.20	0.40	2.75	11198.31	0.98	2.56
10/12	0.30	0.087	0.34	0.45	0.41	0.64	1.27	1.19	1.475	1.60	83.41	110.28	10254.46	0.18	0.39	3.28	11465.26	0.95	2.96
11/1	0.30	0.085	0.34	0.45	0.41	0.64	1.27	1.21	1.475	1.50	82.63	110.53	10449.53	0.17	0.39	3.36	11802.37	0.95	3.05

(注) 公定歩合とプライムレートは月末値。

内外政治・経済トピックスと今後のスケジュール

	国内	海外
1	1	エストニア、ユーロ参加
	3	米12月ISM製造業景況指数、57.0と10/5以来7ヵ月ぶりの高水準
	4	米12月FOMC議事録「成長は緩やかに上向き雇用拡大は緩慢」
	5	米12月ISM非製造業景況指数、57.1と現行方式採用以来最高を記録
	7	米12月雇用統計:非農業就業者数+10.3千人。失業率は9.4%に低下。 オバマ米大統領、NEC委員長の後任にスパーキング元NEC委員長を指名
	11	11月景気動向指数(速報):先行CIは5ヵ月振り、一致CIは3ヵ月振りの上昇 日本政府、欧州金融安定化債の購入を表明
	12	12月景気ウォッチャー調査、10年3月以来の基調判断上方修正
	13	11月機械受注(船・電除民需)、前月比▲3.0% ECB、政策金利据え置き。英中銀、政策金利・資産買入枠据え置き バーナンキ米FRB議長「3-4%成長は理に合っている、失業率引き下げには不十分」
	14	12月国内企業物価、前年比+1.2%と08/11以来の高い伸び 菅内閣改造。官房長官に枝野前幹事長。経済財政相に与謝野氏。 中国人民銀行、預金準備率を50bp引き上げ 米12月消費者物価、前月比+0.5%と09/6以来の高い伸び
	17	日銀地域経済報告「景気判断、7地域で悪化・2地域で据え置き」
	19	菅首相・白川日銀総裁会談 米12月住宅着工件数、52.9万戸と09/10以来1年2ヵ月振りの低水準 米中首脳会談。米中共同声明「米国は連邦赤字削減と財政持続性に注力。中国は国内消費の拡大を継続」。中国、総額約450億ドルの米国製品購入で合意。
	20	中国10～12月期実質GDP前年比+9.8%。2010年は同+10.3%。 ホルカー米経済再生諮問会議議長退任、後任にイムルトGECEO。 米12月中古住宅販売、年率528.0万戸と10/5以来の高水準
	21	政府月例経済報告、基調判断を7ヵ月振りに上方修正 独1月ifo景況指数、110.3と90年の東西統一以降最高を更新
	24	通常国会開会
	25	日銀、政策金利据え置き・基金による資産買入現状維持を決定 日銀展望レポート中間評価:11年度成長率+1.6%、CPI(除く生鮮)+0.3% 白川日銀総裁「日本経済、早晚緩やかな回復に向かう蓋然性高い」 英10～12月期実質GDP(速報値)、前期比▲0.5%と5期振りのマイナス成長 米1月CB消費者信頼感指数、60.6と2010/5以来8ヵ月振りの高水準 米一般教書演説「法人税引き下げが必要」
	26	米FOMC、政策金利を据え置き・国債買取継続継続を決定。声明「景気回復は継続しているものの、成長率は大幅な労働市場改善を促すには不十分」
	27	S&P、日本の長期ソブリン格付けを「AA」から「AA-」に引き下げ
	28	12月失業率、4.9%と10ヵ月振りの5%割れ 米10～12月期実質GDP(速報値)、前期比年率+3.2%
	31	12月鉱工業生産、前月比+3.1%。予測指数:1月+5.7%、2月▲1.2% 北海ブレント原油先物、2008/9以来の1バレル100ドル台乗せ 小沢元民主党代表を強制起訴
2	1	12月毎月勤労統計:現金給与総額は前年比▲0.4%と10ヵ月振りの減少 米1月ISM製造業景況指数、60.8と04/5以来の高水準
	3	中国春節(2～8日休日)。ECB理事会。 米10～12月期労働生産性(速報値)、1月ISM非製造業景況指数 米12月製造業受注、バーナンキFRB議長記者会見
	4	EU首脳会議。米1月雇用統計
	7	12月景気動向指数(速報)
	8	12月国際収支、1月マネーストック、同景気ウォッチャー調査
	9	1月消費者態度指数
	10	12月機械受注、1月国内企業物価 中国1月貿易収支。英中銀金融政策委員会(9日～)
	11	建国記念日 中国1月消費者物価・鉱工業生産・固定資産投資・小売売上高 米12月貿易収支、2月シカゴ大学消費者信頼感(速報)
	14	10～12月期実質GDP(一次速報値) 米予算教書
	15	日銀決定会合(14日～)、日銀総裁定例記者会見 ユーロ圏・独・仏・伊10～12月期実質GDP(速報値) 米2月NY連銀製造業景況指数、1月小売売上高、12月証券投資
	16	12月第三次産業活動指数 米1月住宅着工件数、生産者物価、鉱工業生産・設備稼働率 米FOMC議事録(1/25～26開催分)
	17	米1月消費者物価、CB景気先行指数、2月フィデリティ連銀景況指数
	18	日銀政策決定会合議事要旨(1/24～25) G20財務相・中央銀行総裁会議(ノリ、～19日)
	21	独2月ifo景況指数。米プレジデント・デー
	22	米12月S&P/ケース・シャー住宅価格指数、2月CB消費者信頼感指数
	23	1月通関貿易収支 米1月中古住宅販売
	24	米1月耐久財受注、新築住宅販売
3	25	2月東京都区部消費者物価・1月全国消費者物価 米10～12月期実質GDP(改定値)、2月シカゴ大学消費者信頼感(確報) アイルランド総選挙
	28	1月鉱工業生産、住宅着工 米1月個人所得・個人消費、2月シカゴ購買部協会景気指数
	1	1月労働力調査・有効求人倍率、家計調査 米2月ISM製造業景況指数、ページュブック